



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎36-7117

今月のテーマ 知って得する 産業支援センター「おびサポ」

本通二丁目にある産業支援センター「おびサポ」をご存じですか。おびサポは、島田市・島田商工会議所・島田市商工会・島田掛川信用金庫の4者が連携し、中小企業者の事業継続支援や創業支援など地域産業の活性化を図ることを目的として、平成28年4月に開設され、7年目を迎えました。おかげさまで、開設以来多くの人に利用していただき、相談件数は毎年1,000件を超えています。県内でも有数の公設産業支援センターに成長しましたが、おびサポをご存じない人もまだいると聞き、今回は、おびサポの特徴や運営実績について、ご報告させていただきます。

おびサポは、販路拡大や経営などの個別相談、起業・創業を希望する人への支援、補助金の紹介や申請手続きのアドバイス、異業種とのマッチング、雇用契約・就業規則などの働き方改革相談、チラシの作り方、人材確保、法務相談、事業承継など、ありとあらゆる相談を受け付け、「よろず支援拠点」などの支援機関や専門スタッフが、懇切丁寧に解決へのプロセスをお手伝いしています。一件で40回以上リピート相談に見えた人も



島田市産業支援センター「おびサポ」おられ、課題解決まで何度でも相談いただけます。その結果、利用者の87%（令和3年度）が「利用して非常に良かった」とアンケートに答えています。「良かった」の評価を含めると、99%の利用者にご満足いただいています。

では、その実績について、創業者数を例に見てみましょう。この6年間で、131人が創業の夢をかなえました。中には、テレビなどで紹介されて、行列のできるお店に成長した店舗もあります。コロナウイルス感染症の影響で大変厳しい経済状況が続いた昨年も、おびサポ創業支援から、27人の新規事業者が生まれました。市独自の創業補助金・地域産業振興事業補助金などを用意して、相談に来られる皆さんを支援しています。他にも「ビジネススクール嶋田塾」や各種セミナーの開催、前年度相談者の現状を把握してフォローアップを行うなど、着実に地域産業支援に成果を挙げています。

相談をスムーズに進めるため、原則、事前予約制ですが、飛び込みで相談に来られる人もいらっしゃいます。昨

年末に相談に来られた人は、現在首都圏で、夫婦で事業を行っていて、奥さんの実家が島田市内にあるそうです。まずは奥さんが島田市内で開業し、軌道に乗ったら旦那さんも移住したいとのことでした。お話を伺うと、ご夫婦の事業には首都圏でかなりの顧客がついているようなので、なぜ島田に帰ってくるのか尋ねたところ「最近、若い人が島田に集まって来ているのを感じる。自分もその流れに加わりたい」とのことでした。特に近年、起業・創業希望者からの相談が増えていて「知人に勧められた」「おびサポに相談して開業したと聞いた」などの理由でお見えになる人もおられ、伴走型の支援を続けてきた成果の表れとうれしく思っています。



個別相談の様子

ところで、行政と地域の経済団体、金融機関が連携して地域課題の解決に取り組む仕組みは、今では地方創生の中で浸透してきました。しかし、連携機関のそれぞれの立場の違いや抱える事情などにより、実績を上げることは大変難しく、おびサポのような連携体制は、開設当時には全国の事例を見てもほとんどありませんでした。

現在でも、行政が運営する産業支援機関は、中小企業診断士などの専門家や学識経験者などをセンター長や相談員として雇用したり、事業そのものを民間委託したりするのが一般的です。そんな中「おびサポ」は、連携する各機関のそれぞれの得意分野を活かし、ワンストップで事業者の課題に対応することを基本とした、他に類を見ない、まさに「島田モデル」として成功しています（おびサポのセンター長は、当市の課長級職員）。さらに、大きな特徴として「おびサポ」の支援サービスは、市内事業者に限定していません。志太榛原圏域全体で産業の活性化が図ればと考えるからです。実際、相談者の3割が県外を含む市外からの相談となっています。

これからも、おびサポを利用した中小企業の経営者や起業を目指す皆さんに「来てよかった」と言ってもらえるよう、伴走型の支援に努めてまいりますので、ぜひご利用ください。まずはお気軽に電話から。事前予約制で、相談料は無料です。

㊟島田市産業支援センター おびサポ ☎0547-54-5760